

# 長崎新聞

県産紙宣言。  
12   
おかげさまで 創刊120周年

発行所  
長崎新聞社  
〒852-8601  
長崎市茂里町3-1

  
**電子号外**



# 世界的大流行を宣言

## 新型インフルでWHO

### 警戒水準最高の「6」

### 健康被害の重さ「中」程度

【ジュネーブ11日共同】世界保健機関（WHO）のチャン事務局長は11日、記者会見し、新型インフルエンザの警戒水準（フェーズ）を広域流行を意味する現行の「5」から最高の「6」に引き上げ、世界的大流行（パンデミック）を宣言した。

インフルエンザの世界的大流行は、約100万人が死亡した1968年の「香港風邪」以来、41年ぶり。

事務局長は、今回はウイルスの病原性が低く、「重度」より軽く「軽微」より重い「中」程度だとの認識を示した。今後

も感染が拡大するとの見通しを示す一方で「重症者や死者が突然急増することは予想しない」と表明。各国に



11日、ジュネーブのWHO本部で記者会見するチャン事務局長（AP=共同）

国境閉鎖や旅行制限など過

と、宣言に伴い、新型インフルエンザがもたらす

感染者の健康被害について3段階の新たな評価基準を設定。チャン事務局長は新型インフルエンザに有効なワクチンについて「メーカーができるだけ早く製造できるような支援していく」と言明した。

記者会見に先立ち、専門家による緊急委員会の電話会合が開かれ、チャン事務局長に対し引き上げを勧告。事務局長は各国外交団に警戒水準引き上げを通知した。

ワクチンは既に主要国保健当局と世界の主要メーカーが開発の準備に入っており、7月にも生産が始まり今秋には本格的に流通する見通し。それまでは感染者の早期発見と、重症者に対する抗ウイルス剤投与が対策の中心となる。

詳しくは  
13日付の  
長崎新聞で

購読申し込み

0120-374673

HP 龍～なが

www.nagasaki-np.co.jp